

# 障連協にゅーす

第 21 号

発行日 2010年11月15日  
 編集 NPO法人  
 旭川障害者連絡協議会  
 発行者 吉田尚弘  
 住所 旭川市宮前通東4155番地30  
 旭川市障害者福祉センター  
 「おびった」3F  
 電話 0166-31-2226

## ■障連協にゅーす 21号目次

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 『障害者週間』記念事業   | 4 ちょっと井戸端          |
| 2 第6回「おびったまつり」  | 4 高齢者・障害者の人権あんしん相談 |
| 3 道立高等養護学校を旭川市に | 4 編集後記             |

## 障害者週間記念事業

### ■旭川市『障害者週間』記念事業

と き：平成22年10月31日(日) 10:00~16:10

と ころ：旭川市障害者福祉センター「おびった」体育館

標記の当日(10月31日)は、気温は下ったものの好天に恵まれ、約300名の方の来場がありました。

旭川大学、旭川女子短期大学部手話サークル「ド・レペ」の皆さんによる初めての課外活動という、手話合唱と、ハンドベル演奏は爽やかに開幕を飾って始まりました。

工藤フサ実行委員長の開会挨拶、主催者として西川旭川市長、事業実施法人の障連協吉田理事長、また来賓として旭川市議会佐々木副議長のご挨拶があり、

山崎衆議院議員、旭川市社会福祉協議会 大海寺課長も来られました。

アトラクションは鮮やかな衣裳の旭川フラメンコ倶楽部の方々による情熱と健康美あふ

### 旭川市「障害者週間」記念事業



ド・レペの皆さんによるハンドベル演奏



西川旭川市長の挨拶

れる踊りのあと「旭川に高等養護学校を作る会 経過報告」がなされました。午後の部は「スイングメッセンジャーズ・オーケストラ」のバンド演奏に心を踊らせて手拍子を打っておりました。



網頭先生による講演

国立病院機構 旭川医療センターの網頭慶太先生による基調講演「糖尿病に関わる成人病と障害者にならないために」では、日常における意識に改めて警鐘をいただきました。

このあとのYOSAKOIチーム「旭川 北の大地」による力強い演舞、大きい声を出して踊る迫力は見ている者に身体の中から呼応していく心地よい感動があり、大盛況に終わりました。

この様なプログラムに参加された関係者・スタッフ・ボランティアの皆様、会場に出ている販売の方々、会場の設営等の皆様に改めて厚くお礼を申し上げます。



旭川フラメンコ倶楽部による華麗なダンス

第6回

# 「おびったまつり」開催

## 今年も賑やかに行われました

例年、8月上旬に行われていた「おびったまつり」でしたが、今年はお盆過ぎの21日に開催となり天候の心配もありましたが、昨年度と変わりなく3,600人以上の市民の皆さんの来場があり大盛況のうちに終了することが出来ました。

この紙面を借りて皆さんに改めてお礼を申し上げます。



旭川華酔組の迫力あるヨサコイ演舞

## 大盛況のアトラクション

アトラクションはジャズバンド演奏の「TAKE・5」がオープニングを飾り、YOSAKOIは「チームぴあどらごん」・

「テスク & 祭人」・「旭川華酔組」の三チームが出演し、「レイ・アロハフラスタージオ旭川」のフラダンスや「PL旭川MBA」のバトントワリングまた、「ミスター西垣」のマジックなどの披



TAKE 5によるバンド演奏



ユニバーサル御輿も紹介

露もありました。今年の特別出演として、鷹栖共生会の障害者のコーラス、さんろく祭りでも活躍した「ユニバーサル御輿」も紹介されました。ミニSLは小さな子供さんに好評で多くの方が乗車体験をしたり、障害者のスポーツ体験コーナーも設置され様々な障害者スポーツを体験しておりました。

## 体験コーナーも大人気



車いすカーリングを体験！

会場には多くの道議会議員・旭川市議会議員の皆様も参加され、それぞれの方がこの「おびったまつり」に深く感心され、私たちの活動に共感しておりました。

各販売のブースは長蛇の列となり、販売担当者は暑い中必死にお客さん対応をしておりました。このまつりに参加している市内の障害者事業所や福祉施設なども例年以上の製品・農産物の売り上げがあり、自分たちの活動を多くの市民の皆さんに知ってもらえることが出来ました。

これからも障害者の活動を知っていただくと共に交流が持てるようがんばりたいと思います。



西川旭川市長も参加

# 道立高等養護学校を旭川市に！

## 総決起集会が行われました

先月の9月11日、旭川グランドホテルにて「子どもたちの未来のために道立高等養護学校を旭川市へ！！」の総決起集会・特別支援教育講演会が行われました。

市内には高等養護学校が無いとため、約80名の生徒が美深町や小平町、雨竜町の学校での寄宿舎生活を余儀なくされています。この間の生徒達の精神的な負担や家族の経済的な負担も大きく、途中で退学せざるを得なかったり、進学自体を断念せざるを得ない生徒もおります。

「障害のある子ども達も、ほかの子ども達と同じように自宅から通いたい。通わせたい。」という子どもや家族の願いを実現していくために、旭川市、旭川市に高等養護学校をつくる会等が主体となり道立特別支援学校誘致期成会を昨年設立しております。



総決起集会の様子

## 家族からの訴え

会場には約500名の参加者が集い、第1部の「総決起集会」では期成会会長の西川旭川市長が「市内の小中学校の特別支援学級に在籍する児童数は年々増える傾向にあり、子ども達が将来において希望を持てるような教育環境を整えるため、一昨年道や道教委に要望をしているところです。

「つくる会」では10万筆を超える署名を道や道教委に提出しており、一日でも早く実現できるように早急に重要な課題として誘致していきます。」と力強く挨拶されました。

次に、意見発表では旭川自閉症児者親の会の長沼さんから、保護者を代表して高等養護学校を卒業した親の立場として、遠く離れた学校の寄宿舎生活に息子さんが慣れるまでの話や不安やストレスを抱えての3年間の様子、送迎に大変なご苦勞をされたこととお話されました。

最後に旭川市に高等養護学校が設立されることにより、本人にとってゆとりある学校生活、家庭生活、地域生活が送れ、親の経済的負担や精神的不安も大きく変わるのではないのでしょうか？との切なる願いと、10万筆の署名が無駄にならないように一日でも早く高等養護学校の早期設立をお願いされていました。

## 決意表明と講演会

また、旭川手をつなぐ育成会の利根川さんからは身近な地域で進学を希望している親の立場から高等養護学校での学びは彼らにとって就職や自立に向けて重要な役割を果たし、旭川市は道北の拠点にして北海道第2の都市で地域資源としての連携機関もあるが、高等養護学校だけは他の地域という状況にとっても違和感を感じることをお話しされ、最後に早期実現を呼び掛けると会場からは温かい拍手を頂きました。

次に期成会の副会長であります、旭川商工会議所会頭の新谷龍一様からは是非とも旭川市に高等養護学校が設置されるように官民が一丸となって誘致運動を全力をあげて展開していくと力強い決意表明があり、会場からは万雷の拍手をもって承認となりました。

第2部の「特別支援教育講演会」は旭川医科大学病院小児科、子どもの発達診療センター副センター長の荒木章子(あきこ)先生を講師に「発達が気になる子どもの理解と支援」と題し、講演会が開催されました。

この総決起集会において、「できる限り身近な地域において、指導や支援を受けられる体制を整備し、きめ細かな教育を推進すること」の基本的な考え方を再確認するとともに一人一人が一致団結し、早期誘致に結び付くことを願いながら、会場を後にしました。

### ちよつと 井戸端

#### おびった祭りに参加して

今回はおびったまつりで演舞をさせていただいてありがとうございました。会場の雰囲気はとてよく感じ、踊り子からも「また来年も演舞したい！！」と感想がありました。是非とも来年も出演させていただけるよう、よろしくをお願いします。

ボランティアの方もよい経験になりました。私達のサークルは「お祭りづくり」も行っており、その経験も活かすことができたと思います。いろいろ大変な作業もありましたが無事におわったことを私達も嬉しく思います。おびったまつりは人と人のつながりが密でとても温かいお祭りだなと感じました。

今回はボランティアにも参加させていただきましたが、その際に気になったことをいくつか述べさせていただきます。まず設営に関してですが、誰が指示を出しているのか(テントの

設営、机の搬入等)が明確ではなく、聞く人によって言っていることがばらばらなような印象を受けました。次に運営についてですが配属される場所によっていろいろと仕事の量に差があるように感じました。最後に撤収についてですが、撤収の際に行くことを事前に知らせてもらえれば、ボランティアの人全員が何をすればよいかわかるので来年以降ご検討をお願いします。



テスク&祭人

問合せ先 maturinchu@hotmail.co.jp

## ～高齢者・障害者の人権あんしん相談～

昨年に引き続き今年もおびったの一階ロビー特設会場にて、旭川地方法務局主催による「高齢者・障害者の人権あんしん相談」相談事業が行われました。高齢者や障害者の人達が職場や地域で不当な扱い、虐待を受けていたり、あるいは情報化時代におけるインターネットでの誹謗・中傷の書き込みに対する相談などの受け付けをしました。この事業は全国の事業で昨年度から行われており、毎年9月の上旬を目途に一週間を強化期間として行っております。今回は7件、今回は1件の相談があったようです。本来なら相談件数が0件であることが望ましいのですが、その道のりはまだまだ遠いようです。

相談については強化月間のみならず、日頃からも受けておりますので、決して一人で悩まず相談してみたいかがでしょうか？



相談場所・連絡先

旭川市宮前通東 4 1 5 5 - 3 1 旭川合同庁舎  
旭川地方法務局 TEL 0 1 6 6 - 3 8 - 1 1 1 4

### 編集 後記

▼今年の夏は異常な暑さに老若男女、熱中症に脅えたのでは？わが家の息子は暑さに弱い(自閉症の方は気候の変わり目に弱いようですが…)家訓により“クーラーは必要なし”と決めています。しかし今回ほどクーラーのある

お宅を羨ましく思った事はありません。でも秋を感じる今日この頃、喉元過ぎればなんとやら、すっかりそんな事は忘れてしまいました。今年の冬はどうでしょうか？皆様も異常気象に負けず、体調を整えてお過ごし下さい。

(Y. A)